

雨にも負けずにぎわう「オータムフェスタ2025」 —たくさんの艦艇見学に笑顔あふれる—



装備展示



雨の中、大勢の人々が訪れた



募集相談コーナー

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 阿部勤3海佐）は、10月1日（土）、横須賀地方総監部で開催された「オータムフェスタ2025」で広報活動を行った。当日はあいにくの雨模様となったが、約8,500名の来場者が訪れ、会場は多くの人でにぎわった。

会場では護衛艦「てるづき」や「あまぎり」、イージス艦「まや」、最新鋭護衛艦「くまの」、掃海母艦「うらが」、潜水艦などの艦艇見学が行われ、来場者は間近で見る艦艇の迫力に目を輝かせていた。航空機の地上展示や陸上自衛隊・航空自衛隊による車両などの展示も人気を集め、ステージでは海上自衛隊横須賀音楽隊によるミニコンサートなど、終日さまざまなイベントが行われた。

横須賀地域事務所は、他の募集案内所の広報官の協力を得て広報ブースを設置した。雨の中でも多くの若者や保護者が訪れ、自衛隊の入隊制度や今後のイベント情報について熱心に話を聞き、来場者の関心の高さがうかがえる和やかな交流の場となった。

逗子市から訪れた大学生は、「たくさんの艦艇を見学できて楽しかった。今後もいろいろなイベントに参加したい」と笑顔で話していた。

横須賀地域事務所は、「今後も部隊と連携しながら、自衛隊の魅力や活動をより多くの方に知ってもらえるよう取り組んでいきたい」としている。



ブースで広報官が説明



広報官が熱心に説明